

令和4年度 西砂学習館運営協議会（令和4年6月）会議録

日 時：令和4年6月28日（火）午後6時00分～午後8時30分 （敬称略）

出 席：大槌 加藤 内金崎 小笠原 岩元 能村 加藤 小林 森 増田 広瀬

事務局：庄司 石川 田中 俣本

1. あいさつ

石川：今日は第1回目の会議。会長と副会長が決まるまで私が司会進行をさせて頂く。

庄司：4月で生涯学習推進センター長を拝命。今回3名の委員が変わられたので改めて挨拶をさせて頂く。これまでは交通対策課、学校教育課にいた。教育委員会は比較的長くいたが生涯学習は初めて。地域の方に生涯学習を支えて頂いていると感じているところ。市の状況をお伝えする。この2日間、立川市役所でシステム障害が起こっている。1階を中心に仮復旧はしている。一方で、嬉しい報告もある。Wi-Fiが先週から各学習館でスタートした。西砂学習館の視聴覚室と会議室の空調機を、夏を前に入れ替えた。来年度は中規模改修を予定。細かい内容はこれから詰める。今年度は錦学習館が中規模改修を行う。暑い日が続くので体調に気を付けて活動を続けて頂きたい。

2. 辞令交付

3. 会長・副会長選出

石川：立候補が無ければ、予め事務局でお願いをしている方がいる。前回から引き続き、会長には大槌委員、副会長は加藤委員でいかがでしょうか。

〈拍手で承認〉

大槌：西砂エリアの人材や地域の財産は素晴らしいものが沢山ある。西砂から皆さんと協力しながら立川を変えていく風を吹かせて作っていきたいと思っている。2年間よろしくお願い致します。

加藤：委員になり10年が経つ。市民推進委員会では各地運協の情報が入る。西砂の地運協は他と比べて地元に着し、地元と連携した活動を行っていると思っている。市民推進委員会との連携も含めて上手く取り組んでいきたい。

4. 令和4年度活動計画（案）について

（1） 令和4年度活動計画（案）について

- 「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」

石川：資料参照。コロナ対策を行い、昼食の提供が復活した。お子さんを朝から夕方までお預かりできる。子どもの為でありながら親の助けも兼ねてサマーイベントがある。内容についてはチラシの通り。今年は特に冷房の制限もある夏になるかもしれないので、学

習館で涼しみながら、Wi-Fi もあるので楽しい時間になるかと思う。チラシ最後のページは、ボランティア募集、食材寄付のお願いになっている。このチラシは自治会にも回覧し、七中にも配る。中学生が調理のお手伝いに来て頂けたら良い。西砂産直会にはご挨拶をした。

大橋：できるだけ沢山の子ども達たちに参加してもらえるように、受付は1日の参加、午前の参加、午後の参加で分けるとのこと。単純な疑問として、「午前中に講座に参加した人はお昼ご飯を食べられます。」とチラシに記載があり、午後の子どもは家で食べてきて下さいと捉えるがどうか。この記載であると、午後から参加の子どもはお昼の提供がないと解釈をする。

石川：去年から一日の参加、午前だけの参加、午後だけの参加の3通りで聞いている。午後だけの参加は数名しかいなかった。午後の方も希望があれば11:45 までに来て頂き一緒に昼食を食べられるようにする。準備のこともあるので予約はして頂く。

大橋：「11:45 までに来られれば一緒に食事をして参加しましょう」と柔らかい言葉で書けば良いのかなと思う。

岩元：チラシに書くと煩雑になるので、午後だけの方には口頭で説明をしたらどうか。

石川：チラシはこのままで、午後だけの参加者には、お昼ご飯を希望する場合は11:45 までに来て下さいとする。

小笠原：食事の片付けは子どもも一緒に行うのか。

大橋：子ども達は、片付けは行わない。今まで皿を下げるところまではしていたがそれ以上のことはない。西砂エリアの特性として、野菜や原材料の寄付があり、色々な方に支えられたお昼。継続できていることはありがたい。

能村：中学生はどのような参加か。

石川：午前中の調理のボランティア、お昼と一緒に食べて、午後は学習時間とした。

小笠原：昼食場所はどこか。

石川：視聴覚室。机をコの字にする。おしゃべりは禁止し、横はアクリル板で仕切る予定。

大橋：委員の参加調整表について。

石川：イベントに参加の方は□にチェック。調理のお手伝いは名前を○で囲むようにして頂きたい。生涯学習係の方にも当日お手伝いが可能か確認をする。

大橋：お声掛けをしている方が1名いる。

加藤：推進委員会でも中央大学の学生が協力してくれる予定。

広瀬：当日の委員の人数は多ければ多いほど良いというわけではないと思うがどうか。

小林：料理教室では、子ども25名として、2人を1人で見られる感覚でその前後の人数なら良いかと思う。調理は包丁や揚げ物は危ないから行わない予定。

石川：バランスが良くないときは、事務局で調整したい。

大橋：申し込み状況次第で調整するのはどうか。

岩元：夏の予定がまだ分からない状況なので、今の状況で参加調整表を提出する。

● 「地域の再発見・地元を学ぼう！玉川上水の謎」について

石川：チラシ参照。会長と講師と打ち合わせをした。当初予定していたコースが変更になった。

大橋：1 回目が座学、2 回目が羽村から福生駅。3 回目が武蔵砂川駅から玉川上水駅となっている。

広瀬：福生に田村分水（田村酒造）がある。そこへ寄る場合は紹介が可能。

大橋：講師にお話しして検討したい。

● 「西一元氣通信 第 6 号」について

石川：西一元氣通信第 6 号参照。1 面は念願の Wi-Fi が入ったことを入れた。中面は学習館祭り、サマーイベントのお知らせ、方言。最後のページは平和都市宣言について。

● 「立川市平和都市宣言 30 周年企画」について

石川：資料「地域学習館運営協議会の委員のみなさま」参照。この文書で展示と講座内容がわかると思う。

大橋：4 月の運営協議会で柴崎学習館運営協議会の檜崎委員の説明があった。西砂に特化した展示物の用意とのことで、職員の田中さんと 2 人で西砂町吉岡さんのお宅に伺った。吉岡さんは中里新田の空襲の様子について、7 歳の目を通した感想を寄稿している。林泉寺の大きな樺の木が焼き残ったこと、焼夷弾が雨のように降ったなど生々しいお話を聞いた。子ども向けにルビを振りパネル 1 枚にできたらと思う。

田中：単に爆弾が落ちただけでなく生い立ちもお聞きした。

（2）その他

・「地域学習館運営協議会交流会」の開催について

石川：昨年度開催予定だったが、コロナウィルス感染拡大を受け中止になったものが、今年できることになった。内容は企画書の通りでどうか。学社一体は西砂の地運協が抜きんでている。講義は 20 分生涯学習系の海野係長が担当。会場は、持ち回りで開催するなら各学習館で行うのが良いと話があり、今回は西砂学習館を会場にしたい。日程は平日午後 6 時半スタートを予定。

大橋：活動のベースになるところなので、委員が同じ見識を持つのが大切。学校本部事業、地域学校コーディネーターとどう学習館が関わるのか模索しながら進めている。その為には学社一体の起こりや狙いを明確にして頂き同じ意識を持ち、グループに分かれ、地運協としてどうしたら良いか、意見交換をしながら発表する形式を考えている。学習館まつりで作ったパネルを他館の委員に知って頂くために展示をしたい。

石川：日程はどうするか。

庄司：7月29日に代表者会議があるのでそこで確認して、次の会議でお話できればと思う。

広瀬：この事業の趣旨と狙いに「会員が一堂に集まり交流を深める」とある。なので、できるだけ委員が集まる為に、会場を本庁にしていたかと思う。人数制限をせずに、各委員の交流ができれば素晴らしい。

石川：グループワークを予定している。第一教室と視聴覚室の二部屋を使えばできると思う。

本庁302会議室は広くて良いが、学習館を肌で感じてもらうのが大事と聞いた。

大橋：実際人数制限をせず、たくさんの人に来てもらう。各館の様子がわかることも大事。

ある程度の人数が確保できるなら各館を回る交流も良い。代表者会議があるので、そこで日程を決めたい。

加藤：各学習館での開催は賛成。時間が6時半からなので、帰りの交通の便が心配。人数絞らないでできるだけ多くの参加が良い。

田中：幸学習館の地運協は昼に会議を開催。昼の開催が良いとする地運協もあるかと思う。

大橋：選択肢を多くして聞いていく。

1. 報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：議事録の発言者の名前について検討が必要。差し支えなければイニシャルで掲載するのはどうか。

能村：市のホームページを調べた。審議会、企画運営委員会、学校給食の会議はイニシャル、文化財は「委員」になっている。名前が出ている教育委員会の議事録は1つもない。ボランティアの会議で個人の発言で名前を出す必要があるのか疑問。

大橋：この会議では名前を出しても構いませんという意見が多かった。

増田：発言したことに名前を出して構わないと思う。

岩元：地域の学習館、地運協だからこそ色々な思いを持ち、自由に話し合い、私の考えはこうですよと地域の方に知ってもらえるので、名前を出すことに違和感はなかった。隠すことは無いと思っている。

能村：出す必要がないのに出さなくてよい。審議会はなぜ名前を出してないのか。他の会議に名前が出ていないのに、なぜと思う。

庄司：いくつかの会議に参加している。名前を出している会議は少ない。この会議では委員の思い、意味があり残されているのかなと思う。現状は、1館だけ名前は出ている。

広瀬：今までずっと出してきた。私は出して良いと思っている。地域の方が読んでくれば、あの人の発言と分かる方が良くと思う。

大橋：多数決で決めて良いか悩む状況。今まで考えてこなかった。

森：名前を出すことのデメリットがあるのかお聞きしたい。

能村：出さないで良いものは出さないで良いということ。

岩元：地域に密着するという意味では、自分が思っていること、自分が行っていることにつ

いて文化会にも知って頂きたいので名前は出して頂きたい。それをご覧になった方から、岩元さんの考えは違うと思うよと言われたらその方とお話しが出来る。誰の発言か分からないと、この会は何をしているのかなと思われてしまう。他の会議も名前が出たら良いなと思っている。

森：他の会議で名前を出さないのは何故なのか。特定されたらまずいのか。

石川：出さない方が忌憚のない意見は言えるので、名前を出さないで欲しいという方もいる。今までの色々な会議の事務局を担当して感じたことは、会議に会を代表して出席している方は名前を出して欲しいという方が多く、逆に背負っている会などがいない方は名前を出さない方が良いという方が多い。

森：自分は名前が出るか出ないに関わらず忌憚のない意見を言っていた。

石川：会議録を必ず皆様に見ていただいてから公開をしている。問題になる発言は公にならないように調整はしている。

大橋：議事録は事務局から事前に委員へお送りしている。正確に伝わっていない場合は訂正もできる。委員の意見を聞くと、名前が出された形で構いませんという意見が多いと思う。議事録は自己でチェックをして事務局と十分に確認をして頂く。議事録は今後も名前ありで公開する。

（２） フリースペース（報告）

小笠原：サマーイベントが終わり、９月頃に協議ができたと思う。

（３） 各委員から報告及び連絡事項

加藤：コロナが落ち着いてきたかなと思っている。推進員会の講座の定員も 1/2 で行っているが、状況により見直しをしても良いと思っている。４月の総会は文書で行った。高松学習館の石井さんが講師のミニ講演会は中止にしていた。研修という観点で有効なので、８月３日に行う予定。地運協の委員にも参加して頂けたら良い。

内金崎：４月にコロナ禍の活動状況のアンケート調査を行った。体操教室は比較的再開をしているが飲食を伴う茶話会はまだ休止のままと報告を頂いている。コロナの影響は続いている。体操教室の参加者は比較的元気な方が多い。茶話会参加者は身体的にも衰えている方が多い。そのサポートが少なくなっていると感じている。

小笠原：児童館では猛暑で外遊びができていない状況で、子どもにストレスがかかっている。学校も外遊びができていない状況。夏休みのイベントを控えている。サマーイベントのミニコンサートはピアニストと組み臨む予定。

大橋：拡充型子ども教室がはじまってから児童館の状況はどうか。

小笠原：松中小児童の来館は減った。その分、西砂小児童の来館が増えた。居場所が増えたということで子ども達にプラスになったと捉えている。

岩元：文化会は５月２４日に総会を書面で行った。新しい会長になった。年間行事の確認を

した。8月はカラオケグループのカラオケ大会、10月29日から30日は文化祭を予定。9月は役員研修会を予定。豊泉先生のお話をしたところ、皆さん関心を持って頂いた。文化会でも地元を学ぼうに参加できたと思う。6月30日は青少健の会議を予定。松明祭りの開催は8月20日に西砂小で開催。社会をあかるくする運動では映画会を行う。

能村：第3号委員。推進委員になったのは1月。加藤委員からこの委員の話を3月頃に頂いた。推進委員会では情報広報部に入っている。講座情報誌「きらり・たちかわ」の裏表紙について。今回からの連載で学習館探訪の記事が載る。各学習館を取材して掲載する。今回は高松学習館。西砂も載るのでその時はご協力よろしくお願いします。

小林：フリースペースの再開が9月頃とのことでほっとしている。8月にサマーイベントがあるので、うまくできるように頑張らなければならない。非常に緊張している。

森：西砂パソコン倶楽部では毎月10人近くの参加がある。地域の活動の中で活用して頂いていると嬉しい気持ちになる。Wi-Fiが繋がったので上手いかし、セキュリティーについて不安に思う所を教えていきたい。

増田：財政を考える会では6月25日に財政課長から予算についての講義があった。冊子にしていく。議員も職員も一般の方も会に参加して頂きたい。

広瀬：今期から第4号委員。80歳を機会にシルバー大学と寿会に参加。シルバー大学は、全て交流大学の一環と知った。シルバー大学には去年と今年2年参加。コロナで受講生同士の交流が無く皆残念がっていた。一番福祉会館ではシルバー大学の講座2つ開催している。絵手紙とボイストレーニング。ほとんどの講座が柴崎福祉会館で開催。ここから通うには不便。老人会は10年前に初めて入会はしていたが参加は初めて。会長の方が一生懸命。2つの高齢者の関係に参加して、役に立てればと思っている。

俣本：7月～9月にかけてたくさんの講座が控えている。サマーイベントの小笠原委員のミニコンサートが個人的にとっても楽しみ。

田中：学習館まつりが終わった。サマーイベントでは工作を担当。組木を50人分用意しているところ。子どもが楽しむ姿を想像しながら準備をしている。

石川：Wi-Fiが開通。パソコンやモニター等次なるものがある。調整できればオンライン会議ができる。

庄司：6館学習館がある。それぞれ地域性を感じる。西砂は新しい住宅が増え、子どもの数も増えている。地域が盛り上がっていると感じる。元氣通信の発行も特徴的な活動。立川市の唯一の国宝文化財「六面石幢」の修復作業をしている。

大橋：今年人権擁護委員の立川地区会長という職になった。その為に様々な会議や委員会への参加依頼がきている。地運協は大事にしたい活動。

2. その他

7月20日水曜日 18時30分スタート